

イネ科 スズメノテツポウ属

スズメノテツポウ (雀の鉄砲)

Alopecurus aequalis Sobol. var. *amurensis* (Kom.) Ohwi

自生環境

水田、畑地、野原 など

原産地

日本在来

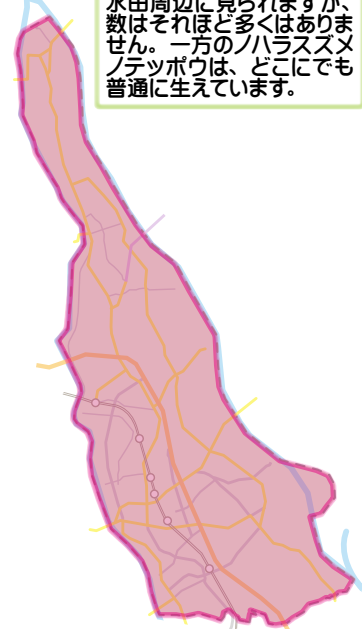
生育を脅かす要因



水田型(狭義のスズメノテツポウ)は、安定した水田環境に見られますが、市内では少数派です。一方の畑地型(ノハラスズメノテツポウ)は数も多く、絶滅の心配はありません。

市内の分布状況

水田周辺に見られますが、数はそれほど多くはありません。一方のノハラスズメノテツポウは、どこにでも普通に生えています。



特徴

- ☆ 従来スズメノテツポウと呼ばれていた草は、水田環境に適した狭義のスズメノテツポウと、畑地環境に適したノハラスズメノテツポウの2つの変種に分けられました。
- ☆ 狭義のスズメノテツポウは、水田などの湿った場所に多く、水田の作業ごよみに合わせた生活を送っています。つまり、稲刈り後に発芽してそのまま越冬し、田起こし前の早春に開花・結実して、作業がはじまる前にはタネを残して枯れてしまうという流れです。
- ☆ 水田の場合、毎年耕す時期が決まっているため、それに合わせて時間をかけてじっくりと充実した強い種子を残すことができます。そのため狭義のスズメノテツポウの種子は大きく、穂もすんぐりとした姿をしています。

ノハラスズメノテツポウ

一方で、畑のように乾燥していて、いつ耕されるか分からないような環境に適したものがノハラスズメノテツポウです。ノハラスズメノテツポウは、充実したタネをつくるよりも、いかに短時間でたくさんのタネを残すことができるのかに重点を置いています。そのため、スズメノテツポウに比べると種子は小さく、穂も細くなる傾向があります。ときに10cm未滿での草丈で穂を出すこともあります。



わぴちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

